

2026年度・秋学期 シラバス（確定版）

分野・科目名

家族：「自己の家族関係から紐解くクリスチャンメンターの土台と実践」

講義日程：木曜日 9/3・9/10・9/17・9/24〔・10/1〕

講師 小林 宏繁

講義の概要

他者の家族関係に寄り添うクリスチャンメンターとして生きるためには、まず自分自身が「神様と自分」「実父・実母」「夫婦」という自らの家族関係の現実スポットを当て、内面を探究することが不可欠です。

本講義では、受講生から提出された「身近な家族関係のトラブル」をケーススタディ（事例）の題材として用います。

他者の生きた事例に受講生全員で主体的に取り組み、解決への道筋を検討するプロセス（スタディメソッド）を通して、自分自身の「認知の層」や家族間の「力動（感情の連鎖）」を客観的に俯瞰する力を養います。

また、ファミリーカウンセリングの手法の一つである「オープンダイアログ」の基本概念についても概要を説明し、メンターとしての視野を広げます。

Zoom 講義の特性を活かし、メインルームでの「フィッシュボウル方式」を用いた事例検討ワークショップを展開します。

自らの家族関係における課題を自覚し、クリスチャンメンターとしての揺るぎない生き方の土台を築く4回のプログラムです。

各回の講義内容

【第1回】神様と自分：クリスチャンメンターの「生き方の土台」

「神様と自分との関係」を見つめ直します。N.T.ライトの視点を補助線とし、自らのクリスチャンとしてのアイデンティティを再考します。

また、オープンダイアログの概要を学び、メンターとしての聴き方の視野を広げます。

【第2回】実父・実母と自分：原家族の力動とケーススタディ（親子の葛藤）

「実父・実母との関係」にスポットを当てます。受講生から提出された「親子・原家族に関する事例」を題材に、スタディメソッドを用いて関係性の力動を客観的に分析し、解決への糸口を探ります。

【第3回】夫婦と自分：親密な関係における境界線とケーススタディ（夫婦の葛藤）

「夫婦関係（パートナーシップ）」に焦点を当てます。受講生提出の「夫婦関係の事例」を題材に、金魚鉢方式でのロールプレイやディスカッションを行い、適切な境界線と信頼関係への成長を学びます。

【第4回】生きた事例への適用：メンターとしてのアイデンティティの確立

これまでの学びを総括し、「神・親・夫婦」に関する自己の内省をクリスチャンメンターとしての生き方へと統合します。その場で選定された受講生のリアルな事例に対し、全員で実践的なナビゲーションを試みます。

目標

自分自身の家族関係の課題を「強み」へと昇華させながら、クライアントを温かな関係性へとナビゲートするファミリーメンタリングの手法と生き方を学びます。

成績評価基準

事前課題（20% / 各 10%）：

- ①初回授業のための事例に対する自身の考え（10%）、②4回目の授業で用いる身近な事例の提出（10%）

評価ポイント：

自身の家族関係の課題と紐づけた誠実な考察、および客観的な事例作成ができているか。

授業内ワークショップ（50%）：

参加度、フィードバック・リフレクションへの貢献

評価ポイント：

ロールプレイやチャットでの主体的コミット、他者の事例への探究度、自己への引き戻し（内省）の深さ。

最終レポート（30%）：

指定テーマによる総括（1200～1600字以内、期限 11/30）

評価ポイント：

自己理解と原家族の統合、神が求めるクリスチャンメンターとしての生き方の自覚と宣言。

参考図書

『クリスチャンであるとは何か』N.T.ライト あすなろ書房

『境界線』ヘンリー・クラウド／ジョン・タウンゼント 地引網出版

『父親改革』グレゴリー・スレイトン いのちのことば社

『組織が変わる』宇田川元一 ダイヤモンド社

『オープンダイアログ』ヤーコ・セイラック／トム・エーリク・アーンキル 日本評論社

『オープンダイアログとは何か』斎藤環 医学書院

『この世界で働くということ』ティモシー・ケラー いのちのことば社

『LISTEN——知性豊かで創造力がある人になれる』ケイト・マーフィ

『リフレクション』熊平美香 ディスカヴァー・トゥエンティワン